



学校は、今…

SCHOOL REPORT 18
意欲的な学習への
取り組み

学校では、大人になっても学ぶ意欲をもてるように、子どもたちが、周りの人と考えなどをわかりあう機会を大切にしています。今回は、意欲的な学習への取り組みについてご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679



地域とつくる総合的な学習(伊良湖小学校)

伊良湖小学校では、5年生の呼びかけで始まった米作りに挑戦しました。昨年4月からの田んぼ作り、田植え、稲刈りなど、初めて体験することばかり。田んぼ作りは、PTAの方が奮闘。田植えでは、田んぼの中で子どもたちは思うように動けず、苦労したようです。10月26日には、祖父母学級として全校児童で餅をつきました。子どもたちは、祖父母やPTAの皆さんから餅のつき方や、あんこのつめ方などを教えてもらい、楽しく食べることができました。米作りは大変でしたが、子どもたちにとって、とてもよい学習になりました。



▲米作りの達人に教わりながら、稲刈りをする子どもたち



▲「チュウモクン」のフリップを使って発表する生徒

自分の考えを発信する学習(赤羽根中学校)



赤羽根中学校では、自分の考えや思いを仲間に伝え、学び合う生徒になって欲しいと願い、授業改善に取り組んでいます。2年生の社会科では、『江戸幕府最後の戦い、きみはどっちにつく?』の授業で、同じ考えのグループをつくり、発表し合いました。1年生の技術科では、「チュウモクン」というフリップを使って、まとめを発表しました。実演やテレビ画面で説明するグループもあり、意欲的な授業になりました。生徒たちは、考えをみんなで分かり合うことの大切さを学ぶことができました。



かかわりあう小集団学習(泉中学校)

泉中学校では、2～6名程度の小集団で、何でも聞き、言い合える雰囲気づくり、一人ひとりが考え発言し、活動する学習を行っています。10月23日には、100名以上の参観者を迎え、公開授業を行いました。国語の授業で、『ふるさと泉 再発見』と題して、各自が調べた泉の歴史や農業など、ふるさとのよさを文章に表現することに挑戦しました。公開授業では、4人グループで、作文の構成について話し合いました。一生懸命に発表する姿や、真剣に発表を聞き、アドバイスし合う姿が見られました。



▲1年生の国語『ふるさと泉 再発見』の公開授業の様子